

2020年4月20日

ご家族様・関係者様各位

介護老人福祉施設 弥栄の郷

施設長 井上 幸久

統括 赤木 優一

## ご面会など、弥栄の郷の現状と今後の対応に関する 考え方について

皆様におかれましては、既にご存知の通り、厚労省をはじめ、各都道府県から発信されている「緊急非常事態宣言」に基づき、日々の生活をお過ごしのことと存じます。又、弥栄の郷におきましては、関係省庁発信の通知に基づき、運営しているところでございます。

周辺地域の施設が面会禁止にしている中、弥栄の郷と致しましては、ギリギリのところまで、制約を加えながら、面会可能としておりましたが、多くの方の命をお預かりさせて頂いている者として、「面会を受け入れ続ける事が正解なのか、受け入れない事が正解なのか、又、どちらの対応を取ったとしても、それらに対する弊害は生まれないのか」、このような事に悩みながら、最終的に、無期限の面会中止という判断を致しました。勿論、皆様の面会を中止したからといって、100%感染しないという事はありませんし、実際のところ、職員はそれぞれの交通手段で出勤し、弥栄の郷で使用される生活必需品は業者により納入されます。職員に対しては、不要不急の外出は控えるよう発信をしておりますが、それらを堅実に守ったとしても、皆さんと同じように、生活を営む上で、最低限の外出はせざるを得ません。三密を避けて生活をする事は当然ですが、どこで何がどのようになって、感染してしまうのかについても、明確ではない為、対策にも限界があります。従って、面会を中止にしたからといって、施設内に菌を持ち込まないという保証はどこにもありません。

「これが正直な気持ちであり本音です。」

マスクに関しましては、幸いにも、消費増税前に購入していた事もあり、無駄な使い方をしなければ、1年弱は持つだろうと予測しております。使い捨てのガウンや手袋、防護服といったところまでは、さすがに豊富な備蓄もなく、施設内でコロナウイルス感染が発生した場合、たちまち、大変な状況となってしまいます。

国から発信されている中で、5/6までは多くの事柄について自粛という流れではありますが、現状から感じ取る限り、延期は濃厚であると思われまます。この事により、我々、介護施設に対する制限は続くだろうと考えます。

面会以外に現在中止しているもの

・クラブ活動      ・ボランティア活動の受け入れ      ・訪問理美容      ・消防設備機器点検等

必要と判断し実施しているもの

・嘱託医による診察      ・訪問歯科      ・緊急性のある面会（救急搬送など）      ・その他、必要時

上記が、主な現状における対応となっております。

●面会の中止は、ご家族様にとっても、ご本人様にとっても、精神衛生上、悪影響を及ぼすのではないかと危惧しております。最新の機器を導入しているわけでもなく、テレビ電話という訳にはいきませんが、何とか面会（例えばガラス越し等）の機会を作り出したいと考えております。

我々も工夫していきたいと考えておりますが、ご家族様からも、お知恵をお貸し頂ければ幸いです。お願いばかりで申し訳ございませんが、全てにおいて、ご理解、ご協力のほど、お願い申し上げます。又、皆様方におかれましても、ご自身が感染なさらぬように、十分、お気を付け下さい。